

びわこ文化公園植物だより〔β版〕

コハコベ・イヌコハコベ ナデシコ科

・学名 *Stellaria media* (コハコベ)

Stellaria pallida (イヌコハコベ)

・園内各所に自生・帰化

園内各所におかれたプランターの中で凍えるようにして咲いていたパンジー(サンシキスミレ)ですが、このところ急ににぎやかさを増してきました。しかし、パンジーはすでにどなたもよくご存知のことでしょう。ちょっとへそまがりですが、パンジーの中に混じっている小さな雑草に注目してみたいと思います。





パンジーのすき間に目をこらして見ると、あちこちでこんな白い花が咲いています。これは春の七草のひとつ、ハコベの花です。細かいことをいうと、いわゆるハコベにはコハコベとミドリハコベの2種があり、上の写真はコハコベのほうです。3月のはじめ、ミドリハコベはまだ咲いていませんでした。

コハコベの白い細い花びらは10枚あるように見えますが、じつは5枚で、それぞれがV字形に深く切れ込んでいるために10枚に見えます。なかなかおしゃれな花です、誰も見ていないのに…(失礼！)。ハコベ属の

学名は *Stellaria* ですが、これは花を星に見立てたものです。

ハコベは小さな草ですが、よく見ると花以外にもおもしろい特徴があります。細い茎をよく見てください。全体としてはつるつるしていますが、ウマの首のように、白い毛が一すじの列になって生えています。この構造にどんな意味があるのかはわかっていません。



こちらのポットにもハコベらしき特徴をもつ草が混じっていますが、さきほど見たような、白い星型の花はみられません。花がまだ咲いていないのでしょうか。



いいえ、じつは咲いています。上の写真の中心部をよく見てください。緑色の小さな星型の花が開いているのがみえるでしょうか。この植物はハコベの仲間の帰化植物で、イヌコハコベという名前がつけられています。イヌコハコベの花には花びらがありません。これで咲いた状態なのです。

こんな花でも、しばらくするといっちょまえに実ができてきます。これは雑草としては少々やっかいな性質です。「花が咲く前に抜いたろ」と思った貴方、残念ながら、たぶん種はすでに土の上にちらばっています。



コハコベもイヌコハコベも、花は陽射しのあるときにしか開きません。雨や曇りの日はがくが閉じているので、白い花びらがあるのかないのかわからず、コハコベなのかイヌコハコベなのかわかりにくいかもしれません。しかし、イヌコハコベでは「がく」の外側のつけ根あたりに赤紫色のしみのような模様があるので、そこを見ると区別することができます。

(龍谷大学農学部・三浦励一)